

都内での麻しん患者の発生

- 疫学調査により、4月14日にインドから帰国した茨城県内居住の男性（麻しん患者）との接触歴（同じ新幹線）が確認された都内在住の30歳代女性及び40歳代男性の感染を確認（5月12日発表）
 - ・ 4月23日（日）東海道・山陽新幹線 のぞみ50号 9号車（グリーン車） 新神戸18：52 ⇒ 東京21：33
- 上記により感染した方が、5月4日に新幹線を使用していることが判明
 - ・ 5月4日（木）東海道新幹線 こだま740号 10号車（グリーン車） 三島18：54 ⇒ 新横浜19：29

感染の動向等

- 4月23日に新幹線を利用した2名の発病（5月3日）及び発病後の新幹線利用から10日以上（麻しんの潜伏期間）が経過
 - ⇒ 公共交通機関等利用者等での新たな発病例は確認されていないが、推移を見守る必要がある。
- 海外との往来が増加していることから、引き続き、麻しんに対する注意喚起が必要

麻しん（はしか）について

麻しんの症状等

感染経路

- ・ 空気感染、飛沫感染、接触感染
- ・ 感染力は極めて強く、免疫を持たない人はほぼ100%感染
- ・ 感染した人の90%以上が発症

症状

- ・ 10～12日間の潜伏期間の後、38℃程度の発熱及びかぜ症状（咳、鼻水、目の充血等）が2～4日続き、その後39℃以上の高熱とともに発しんが出現
- ・ 通常は7～10日で回復するが、肺炎、脳炎等の重い合併症を発症する場合あり

予防

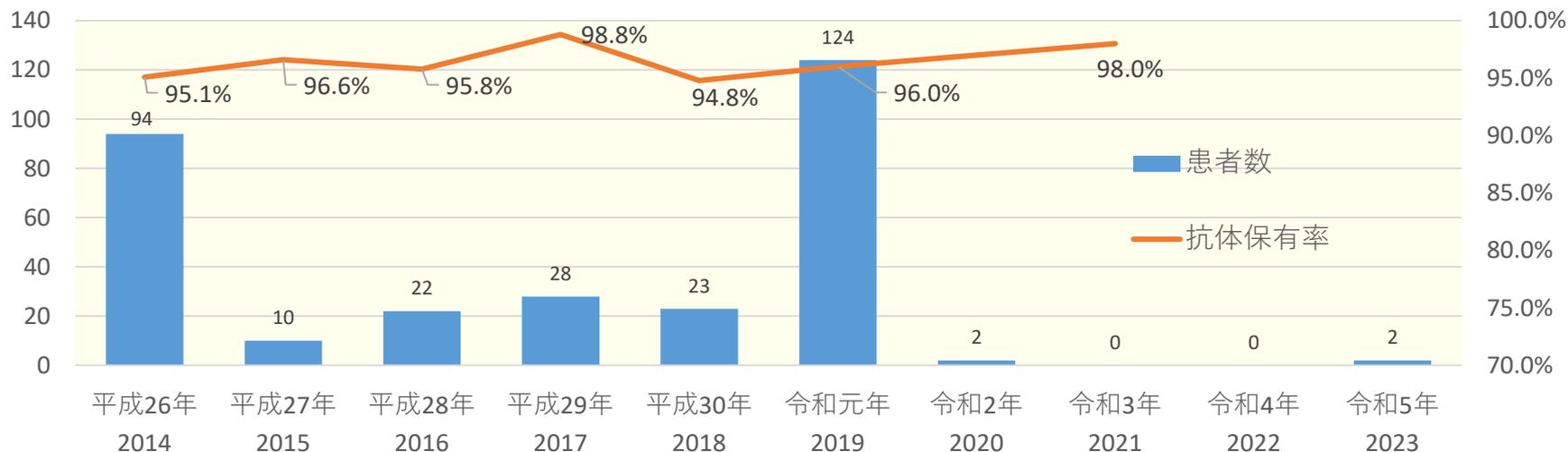
- ・ 麻しんの流行を防ぐには、第1期（1歳以上2歳未満）、第2期（小学校入学前の1年間）の2回接種が必要で、ともに95%以上の接種率を保つことが望ましい

- ・ 都内のワクチン接種状況（MRワクチン接種率）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
第1期	96.4%	99.1%	93.9%
第2期	92.7%	94.0%	93.2%

麻しん（はしか）について

都内における麻しん患者の発生状況と都民の抗体保有率の推移（令和5年のデータは5月14日時点）



都の取組状況

○ 麻しんワクチンのキャッチアップ接種

定期接種を受けられなかった人に対して、区市町村包括補助により予防接種が受けられる制度を設けている。（1 / 2 補助）

○ 普及啓発

- ・ 第1期の接種率向上を図るため、新たにチラシを作成し、東京都出産・子育て応援事業を通じて配布
- ・ 第2期啓発用チラシの作成、配布（配布先：都内各小学校／就学時検診での啓発）